

いにしへのひびきにのせて チェンバロコンサート ～ヴィヴァルディの面影～

(公財)宝塚市文化財団では、2019年2月26日(火)に宝塚ベガ・ホールにおいて、チェンバロを使用したコンサートを開催します。

このチェンバロコンサートは、ベガ・ホール所有のチェンバロを身近に楽しんでいただくためにロビーコンサートとして2012年に始まりました。2017年3月までたくさんの方に親しまれ、2017年6月よりホールでのコンサートに生まれ変わり、より贅沢な時間を過ごしていただけるようになりました。出演者による曲目の解説等もあり、初めて聴く方にもわかりやすい内容となっています。前回実施時のアンケートでは、「解説していただき、より深く理解でき、楽しく聴かせていただきました」「なかなかチェンバロを聴く機会がないので、また次回も来たいです」などの感想をいただきました。

今回は、チェンバロとバロック・ヴァイオリンのデュオにソプラノを加え、ヴィヴァルディのカンタータ(器楽伴奏付きの声楽作品)等をお楽しみいただきます。

貴媒体におかれましても、この公演を取り上げていただければ幸いです。



これまでの公演より

- 日時 平成31年(2019年)2月26日(火)
14:00開演(13:30開場)※公演は1時間程度を予定
- 会場 宝塚ベガ・ホール(阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ)
- 出演 中田 聖子(チェンバロ)、時本 さなえ(バロック・ヴァイオリン)、進元 一美(ソプラノ)
- 入場料 前売500円(当日800円)
- 曲目 A.ヴィヴァルディ:「愛しい面影から遠く離れ」RV.680
オペラ「ポントの女王アルシルダ」RV.700 より「真心を込めて」
協奏曲 op.3-12 RV.265 に基づくチェンバロ独奏用協奏曲 ほか
- 主催 (公財)宝塚市文化財団
- お問い合わせ ご紹介・ご取材いただける場合は、下記担当にご連絡ください。
宝塚ベガ・ホール 宝塚市清荒神1丁目2-18 TEL 0797-84-6192
事業担当:四方・池田

出演者プロフィール

中田 聖子(なかた・せいこ) チェンバロ

相愛大学音楽学部器楽学科卒業。ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音楽大学)にて研修。国内外の演奏家よりチェンバロと通奏低音を学ぶ。関西を拠点に、東京、名古屋、広島、福岡など各地において演奏活動を行っている。2003年よりリサイタルを毎年度開催し、これまでに J.S.バッハの「パルティータ」や「フランス組曲」の全曲演奏会、「ゴルトベルク変奏曲」を含むオールバッハプログラムのほか、17世紀作品からバッハが受けた影響を伝えるプログラムなどでの公演を行っている。

その演奏には「安定した高い技巧」「躍動感ある演奏」と定評があり、新聞や音楽誌「音楽の友」の演奏評でも高い評価を受けている。通奏低音奏者としても古楽器奏者や古楽歌手とのアンサンブル共演多数。2012-13年に 上野の森美術館を皮切りに各地で開催された「ルドゥーテの『薔薇図譜』展」の BGM 演奏を手がけ、CD「ルドゥーテのためのチェンバロアルバム『愛の神殿』」をリリース。2005-6年度エリザベト音楽大学大学院非常勤講師を勤める。日本音楽学会正会員。日本チェンバロ協会正会員。日本イタリア古楽協会会員。

オフィシャルウェブサイト KLA VI <http://www.klavi.com>



進元 一美(しんげん・かずみ) ソプラノ

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院音楽研究科修了。第3回 KOBE 国際学生コンクール入賞。卒業後イギリスにて E.カークビー氏によるバロック声楽マスタークラスを受講、コンサートに選抜される。その他イタリア、フランス各国で研鑽を積む。

ヴィヴァルディ「グローリア」、ヘンデル「メサイア」、「エジプトのイスラエル人」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等のソリストも務める。

兵庫県立芸術文化センターにて全曲バロックプログラムによるリサイタルを行い、「柔らかく透明感のある美声と安定した歌唱」と好評を博す。バロックアンサンブルとの共演も含め、サロンコンサートやミュージアムコンサートに出演。近年アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニとの共演も多い。現在、関西を拠点としバロック音楽中心に演奏活動を行っている。



時本 さなえ(ときもと・さなえ) バロック・ヴァイオリン

鳥取市にて生まれ育つ。大阪教育大学芸術専攻音楽コース、同大学大学院芸術文化専攻音楽表現コースで稲垣琢磨氏に学ぶ。その後ハンガリー国立リスト音楽院で V.サバディ氏の元で研鑽を積む。帰国後はモダンヴァイオリンと並行して渡邊慶子氏の元でバロック・ヴァイオリンを始め、2012年以降、度々渡欧し S・クイケン氏の教えを受ける。2016年には氏主催の「ラ・プティットバンド サマーアカデミー」でコンチェルトのソリストを務める。また、E.オノフリ氏や A.ベイエ氏、L.v.ダール氏らの指導も受ける。2016年6月にはスペイン Tui にある大聖堂にてソロリサイタルを開く。2019年早春には古楽器によるファーストアルバムを発表予定。

第9回高槻音楽コンクール一般の部第2位。第12回大阪国際コンクールアーリーミュージック部門第3位。現在はソロ、室内楽、オーケストラで活動しつつ、関西を中心に教育活動にも力を入れている。

